

一般国道41号

めい のう

名濃バイパス

(道路事業)

説明資料

平成29年7月28日

中部地方整備局
愛知国道事務所

目 次

1. 一般国道41号名濃^{めいのう}バイパスの事業概要	
(1)事業目的	P 1
(2)計画概要	P 2
2. 評価の視点	
(1)事業の必要性等に関する視点	P 3
①交通渋滞の緩和	P 3
②高速道路のアクセス性向上による物流活動への支援	P 3
③ストック効果事例：沿線地域の産業支援	P 4
3. 事業の進捗及び見込みの視点	P 5
4. 県・政令市への意見聴取結果	P 5
5. 対応方針(原案)	P 5

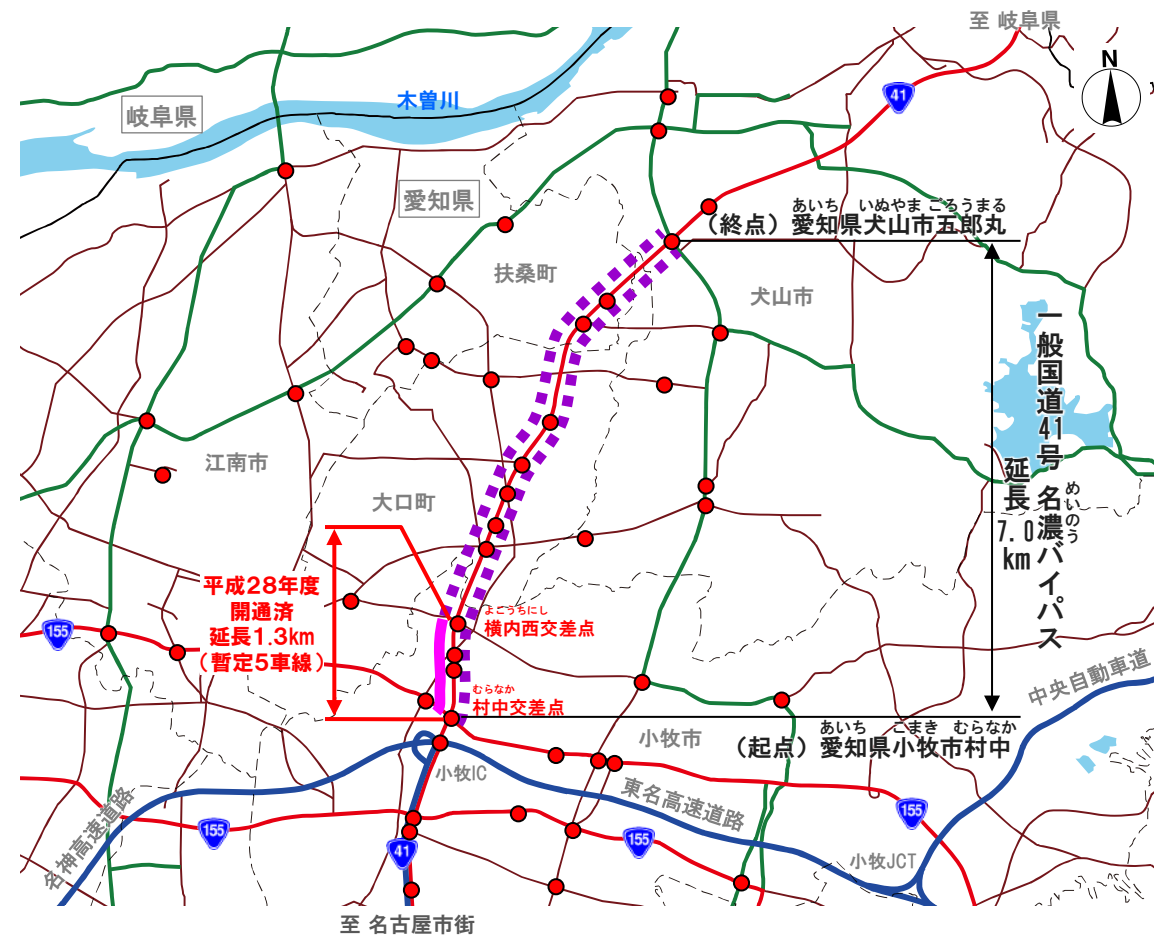
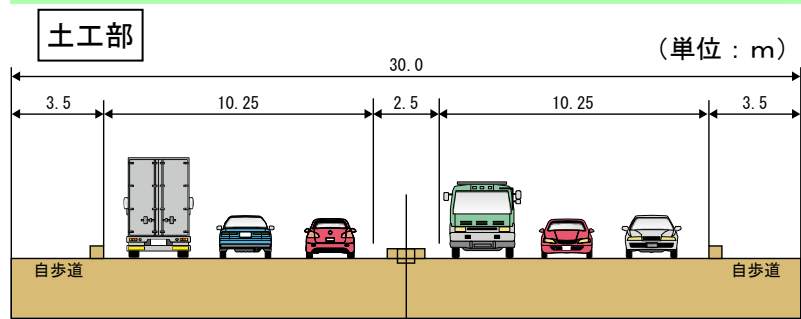
1. 一般国道41号名濃バイパスの事業概要

(2) 計画概要

名濃バイパスは、平成25年度に事業化し、平成28年度までに小牧市村中交差点から小牧市横内西交差点までの区間(延長1.3km)が暫定5車線(北行き3車線化)で開通しています。

事業名	一般国道41号 名濃バイパス
道路規格	第4種第1級
設計速度	60km/h
車線数	6車線
都市計画決定	昭和45年度
事業化	平成25年度
工事着手年度	平成26年度
延長 (平成28年度末)	7.0km (うち暫定5車線開通済1.3km)
全体事業費	95億円
B/C	3.0(H24評価時)

標準断面



2. 評価の視点【事業の必要性に関する視点】

①交通渋滞の緩和

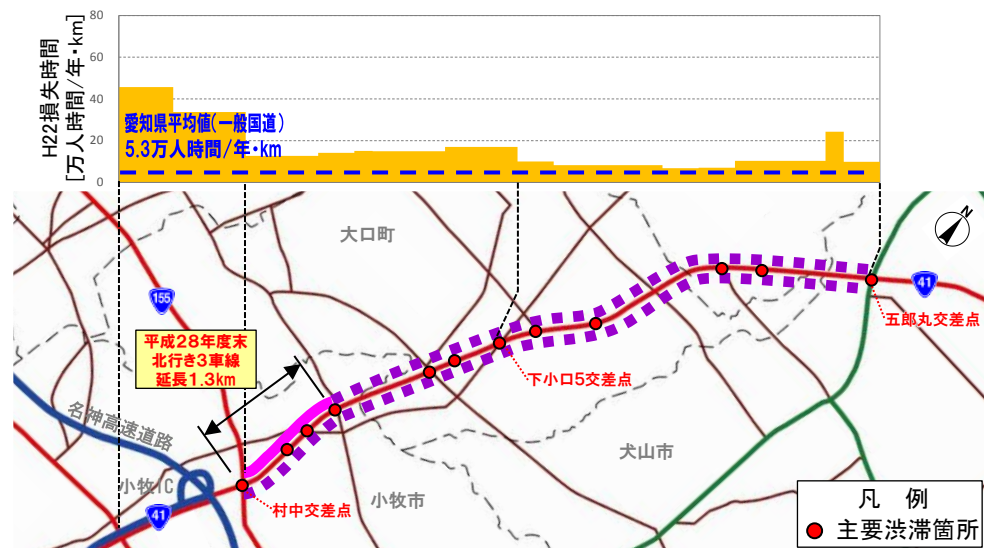
1) 事業を巡る社会情勢の変化

●村中交差点から五郎丸交差点間では、信号交差点の連担(13箇所)、高速道路IC(名神高速小牧IC、名古屋高速小牧北出入口)へのアクセス交通の集中により、依然として慢性的に渋滞が発生しています。

2) 事業の投資効果

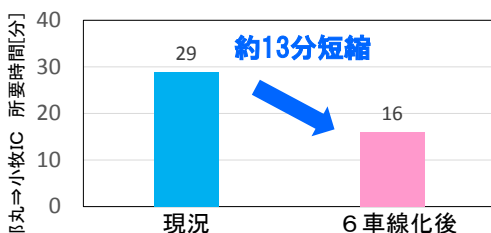
●名濃バイパスの6車線整備により、国道41号の渋滞損失時間は約3割削減され、交通渋滞の緩和が図られます。

1) 事業を巡る社会情勢等の変化

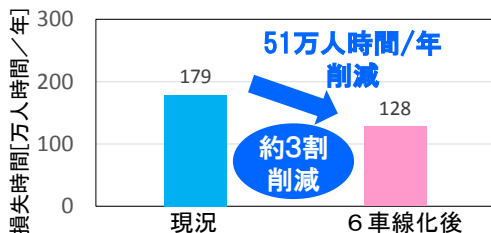


2) 事業の投資効果

・所要時間の短縮効果(7時台 朝ピーク)



・渋滞損失時間の削減効果



※【現況】プローブデータ(H28.11の平日)、【6車線化後】ミクロシミュレーション結果より

※【現況】H22渋滞損失時間【6車線化後】交通量推計結果より

②高速道路のアクセス性向上による物流活動への支援

1) 事業を巡る社会情勢の変化

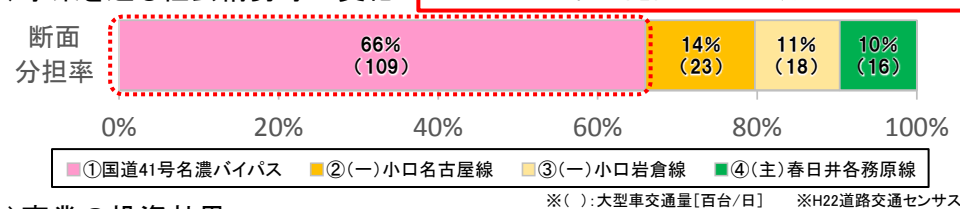
●国道41号沿線には、交通の利便性を活かし、国内有数の製造業・物流会社等の大規模事業所が多数立地しています。

●このため、名神高速小牧ICへのアクセス交通(大型車)が多く、交通容量不足による慢性的な渋滞により、企業活動に支障が発生しています。

2) 事業の投資効果

●名濃バイパスの6車線整備により、名神高速小牧ICへのアクセス時間が短縮し、速達性向上による物流の効率化が期待されます。

1) 事業を巡る社会情勢等の変化 断面交通量の約7割を国道41号名濃バイパスが分担



2) 事業の投資効果

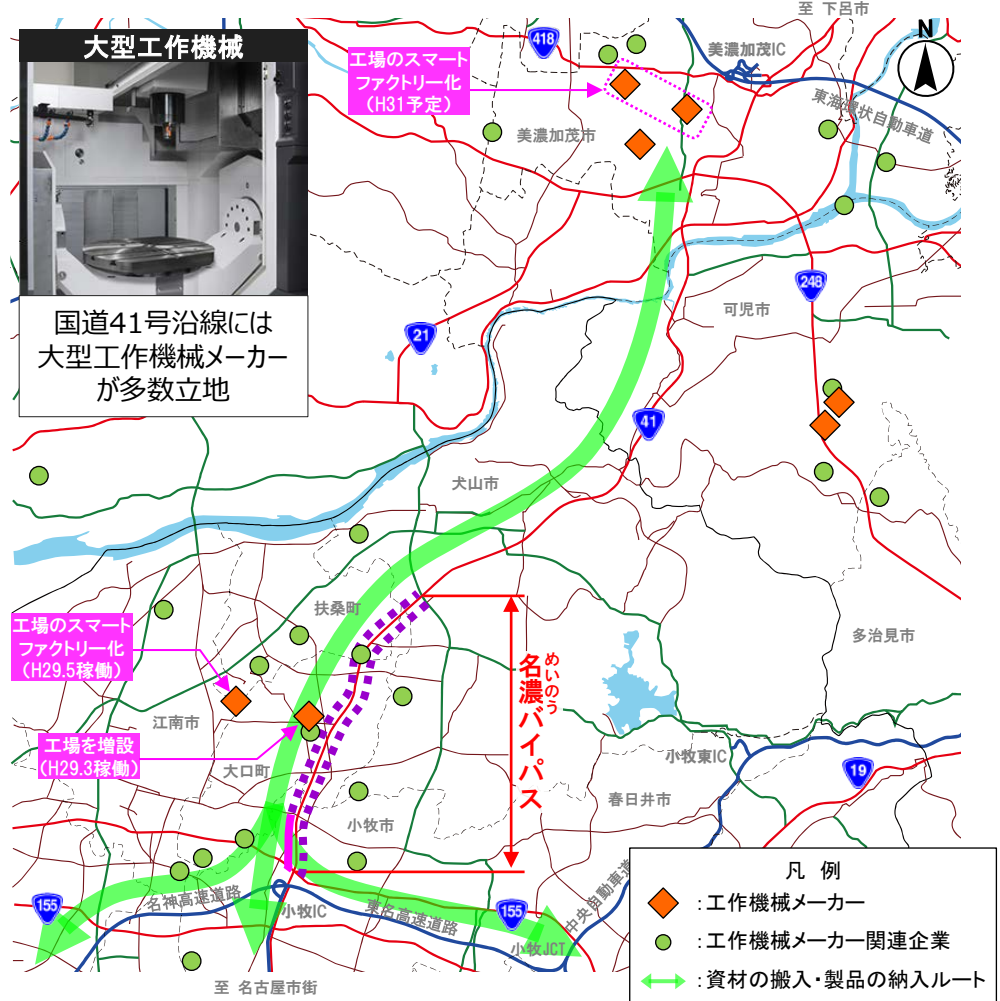
・名神高速小牧IC15分カバー圏域



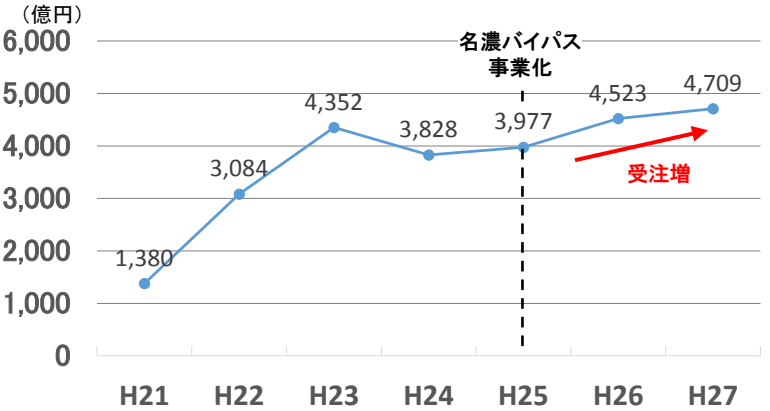
2. 評価の視点【事業の必要性に関する視点】

- ③ストック効果事例：沿線地域の産業支援
 - 国道41号名濃バイパス沿線には、国内有数の大型工作機械メーカーが多数立地しており、近年の需要増加にこたえるため、国内生産体制の増強を図っています。
 - 国道41号名濃バイパスの開通により、資材の搬入・製品の納入による搬送時間が短縮し、物流の効率化を支援します。

■工作機械メーカー、工作機械部品製造会社の立地状況



■金属工作機械の受注状況



※中部地域の大手工作機械メーカーの近年の受注状況
※中部経済産業局

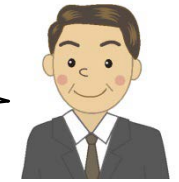
■沿線企業の声

高速道路や名古屋港へのアクセスがしやすい場所に工場が立地しているため、国内外の調達・供給を効果的に進めることができます。今後、グローバルな生産拠点として、高効率生産により更に出荷台数は増加するため、名濃バイパスの整備で名古屋港までのアクセスが向上することを期待しています。



※企業ヒアリングより(メーカーA社)

国道41号の慢性的な渋滞は、朝夕の時間帯で小牧インターチェンジまで約3kmの区間を30分も要する状況であり、取引先への製品の納入や資材の搬入にも大変な影響がでています。



※企業ヒアリングより(メーカーB社)

3. 事業の進捗及び見込みの視点

1) 事業の進捗状況

■事業進捗率は20%、用地取得率は100%に至っています。(平成28年度末)

2) 事業の進捗の見込みの視点

■小牧市村中交差点から小牧市横内西交差点までの区間(延長1.3km)は、平成29年2月1日に暫定5車線(北行き車線3車線)で開通しています。

■小牧市村中から犬山市五郎丸(延長7.0km)は、早期開通に向けて工事を推進します。

4. 県・政令市への意見聴取結果

■愛知県の意見

「対応方針(原案)」に対して異議はありません。

一般国道41号名濃バイパスは、名古屋市と岐阜県中濃地域とを結び、名神高速道路や名古屋高速道路とも一体となって、広域道路ネットワークを形成する大変重要な道路である。また、地元や沿線企業から慢性的な渋滞の緩和や物流の効率化に対する期待も大きく、早期の6車線化完成に向け、整備を加速すること。

なお、事業実施にあたっては、一層のコスト縮減など、より効率的な事業推進に努められたい。

5. 対応方針(原案)

■一般国道41号名濃バイパスの事業を継続する。